

浜田まさよし通信


www.hamada-m.com

発行日：2019 年 12 月発行／公明党参議院比例第8総支部



被災したハウス栽培施設を訪問し、ご要望を伺う(いわき市) 11月2日



被災した住宅を訪問し、被害状況を伺う(いわき市) 11月2日



参院予算委員会 11月8日

防災・減災・復興を政治の主流に 台風19号などの被害からの復旧・復興に向け、参議院予算委員会で質問

台風15号、19号の上陸などにより、98名の死者(12月2日現在)、全壊を含め住宅床上浸水以上が6万5千棟(同)となり、全国340市町村に災害救助法が適用される大災害となりました。特に被害が大きかった福島県。いわき市では夏井川が支流を含め6カ所で堤防が決壊し、家屋だけではなく、農地や工場にも浸水被害が広がりました。

11月2日に現地に入らせて頂き、被災された方々から、「原発事故からようやく事業再開したのに再度災害にあった。」「河川の氾濫が激甚化・頻発化している。この場所で事業再開するのを迷っている。」などのお声を頂きました。

11月8日には、参議院予算委員会で質問に立たせて頂き、安倍総理より、「本日決定した1300億円の被災者の生活・生業の再建に向けての対策パッケージを第一弾として、補正予算編成により切れ目なく対策を講じていく」、また、赤羽国土交通大臣から「再度災害防止のため河川の改良復旧を行う」との答弁を引き出しました。公営住宅等に避難所として入居が始まったことを受け、ガスコンロ、電気炊飯器、寝具などの生活必需品の給付を求め、武田防災担当大臣から「過去に給付制度が十分に活用されなかった実態を踏まえ、全被災自治体に給付制度の活用を周知する」、また、福島、宮城などの二重被災者の生業の再生に対しては、梶山経済産業大臣から「東日本大震災で被災された事業者の、再度被災の場合の自己負担のない補助金を柔軟に適用する」、などの答弁を引き出しました。

さらに、消費税率引き上げ後の税務申告が12月から始まることを受け、麻生財務大臣に、記帳指導、税務相談を丁寧に進めることを要請しました。

「小さな声を、聴く力。公明党」を各地でアピール!

●岐阜県



岐阜県本部臨時大会に出席(岐阜市) 8月25日



岐阜県本部機関紙推進委員会であいさつ(各務原市) 11月24日

●石川県 ●富山県



北陸夏季議員研修会で講演(石川県志賀町) 8月23日

●愛知県



小牧市議選・加藤あきこ候補の出陣式で応援演説(小牧市) 9月22日



愛知県本部団体懇談会であいさつ(名古屋市) 9月21日



大曽根駅前街頭演説(名古屋市) 11月24日

●静岡県



伊東市議選の応援で街頭演説(伊東市) 9月15日



しのはら峰子候補への応援演説



とりい康子候補への応援演説

●三重県



三重県本部夏季議員研修会で講演(津市) 8月25日



四日市市消防本部による林崎消防庁長官への要望(東京都内) 10月24日



鈴木英敬三重県知事による赤羽国交大臣への要望(東京都内) 11月12日

送付のご案内 最近の活動状況について「浜田まさよし通信 vol.34」を作成しました。ご高覧頂ければ幸いに存じます。

浜田まさよし
プロフィール

—— 今、静岡・愛知・岐阜・三重・石川・富山を中心に活動展開中! ——

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち。現在、名古屋市在住
- 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選。現在3期目。復興副大臣(福島担当)、外務大臣政務官、参議院法務委員長、公明党中央規律委員長等を歴任。現在、参議院予算委理事、公明党中央幹

- 事、同参議院政審会長、同政調副会長、同市民活動委員長、同東日本大震災復興加速化本部長代理、同災害対策・防災・減災・復興推進本部長代理、同核廃絶推進委員会座長、同中部方面及び北陸・信越方面副本部長、同静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県本部顧問 等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長

メールマガジン
毎週月曜日
配信!空メールを送れば
登録完了
されます。

〈国会事務所〉〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 316 号室
 〈中部事務所〉〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅 2-34-17 セントラル名古屋 511 号室
 〈北陸事務所〉〒921-8062 石川県金沢市新保本 5-119 浅香ビル 3 階

TEL.03-6550-0316 FAX.03-6551-0316
 TEL.052-561-0431 FAX.052-561-0432
 TEL.076-220-7211 FAX.076-220-7212

幼児教育・保育の無償化を受け、 チーム 3000 で実態調査



幼児教育・保育無償化について、みはる幼稚園を訪問し懇談
(石川県金沢市) 11月18日



幼児教育・保育無償化について懇談(名古屋市)
11月23日

ゴールではありません。子どもも子育て支援制度のさらなる拡充を進めて参ります。

10月1日からの消費税率引き上げによる財源を活用して、幼児教育・保育の無償化がスタートしています。

3から5歳児(就学前3年間)については全世帯、0から2歳児については住民税非課税世帯で保育の必要がある世帯が対象で、対象になった方々からは、喜びの声が届いています。一方、課題も指摘されています。そこで、11月から、公明党の全議員のチーム3000で、実態調査を実施させて頂きました。

私が訪問した、みはる幼稚園は、金沢市で最大の認定こども園で、昨年、幼稚園から移行されました。理事長の話によると、3から5歳児の預かり保育が無償化によって増加し、3時から夕方までの主婦の忙しい時間帯の保育士の確保が大変とのこと。

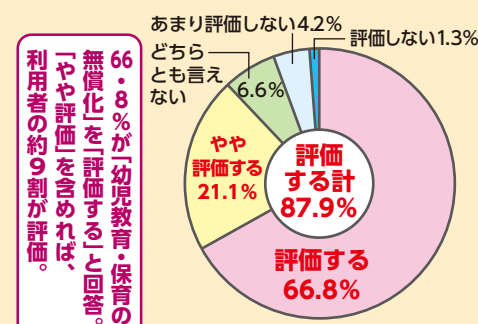
また、名古屋市で訪問させて頂いた、お母様から、「子どもが37度5分以上に発熱すると迎えに行かなければならないことから、仕事を中断する場合は月2回くらいあり、医療的ケアを受けながら保育を継続してくれる機能を付加して欲しい」とのお声を頂きました。

さらに、0から2歳児の無償化の対象の拡大や保育時間の延長は、多くの方からご要望を頂いており、そのための保育人材の育成・確保は急務であると実感しました。

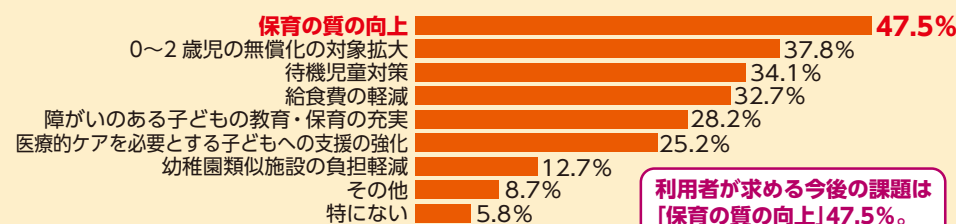
今回の幼児教育・保育の無償化措置はあくまでもスタートであり、ゴールではありません。子どもも子育て支援制度のさらなる拡充を進めて参ります。

幼児教育・保育の無償化に関する実態調査 中間報告 公明党 2019年12月6日発表

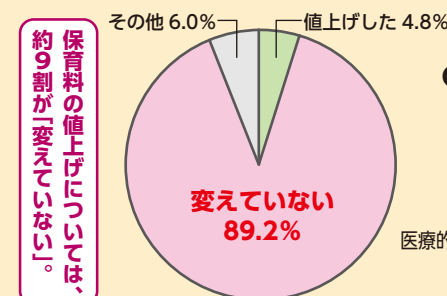
Q. 今回の幼児教育・保育の無償化に対する評価を教えてください。(単一回答)



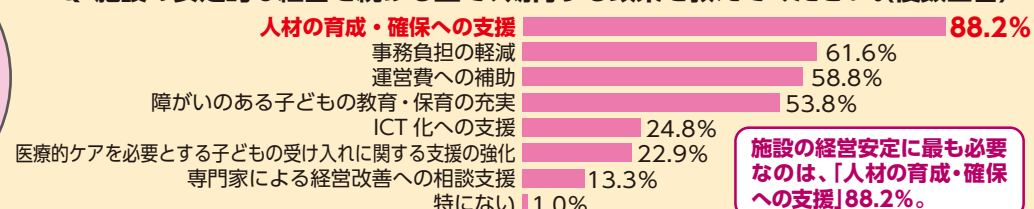
Q. 幼児教育・保育に関し、今後、取り組んでほしい政策を教えてください。(複数回答)



Q. 幼児教育・保育の無償化の前後で、保育料を値上げしましたか？(単一回答)



Q. 施設の安定的な経営を続ける上で、期待する政策を教えてください。(複数回答)



復興庁10年延長へ 東日本大震災・復興の基本方針とりまとめ



復興副大臣離任式であいさつ(復興庁)
9月13日



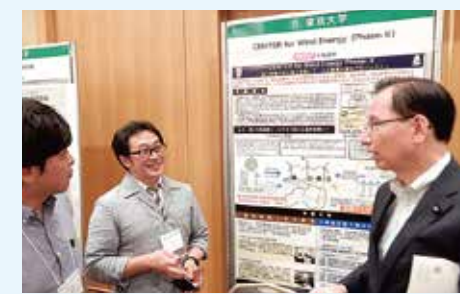
内堀雅雄福島県知事から、「ふくしま復興再生道路」について要望(東京都内)
10月4日



東日本大震災復興加速化本部、復興・防災部会合同会議に出席(東京都内)
12月3日



相馬野馬追に出席し、門馬和夫南相馬市長と意見交換(南相馬市)
7月28日



「福島復興ワークショップin いわき」で、各大学の研究者と意見交換(いわき市)
8月6日



大熊町いちご栽培施設開所式典に出席(大熊町)
8月19日



福岡浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議であいさつ(東京都内)
7月29日



あべやすお候補を応援(いわき市)
11月2日



まやま祐一候補を応援(いわき市)
11月2日



見事当選を果たした、まやま祐一県議、あべやすお県議と懇談(東京都内)
11月19日

9月11日に内閣改造が行われ、復興副大臣を退任し、同じく公明党の横山信一参議院議員にバトンの引き継ぎをさせて頂きました。党に戻り、東日本大震災復興加速化本部長代理を拝命し、2021年度以降の復興庁、復興特別会計の継続などを内容とする、復興の基本方針をとりまとめ、被災地の皆様に喜んで頂きました。福島復興、各地のそれぞれの課題に丁寧に対応していくことが求められています。

東京電力福島第一原発の廃炉の後の新たな産業集積が望まれている福島県浜通り。各市町村の広域連携を進めるための「ふくしま復興再生道路」についての継続的支援の要望を内堀知事からお受けしました。

浜通りの伝統行事である「相馬野馬追」は年々来客者数が拡大し、復興の熱気があふれています。一方、東京電力福島第一原発立地町の大熊町でも、2019年4月10日に避難指示が一部解除され、最先端技術で栽培環境を制御する、いちご栽培施設が本格稼働し、8月から全国へ出荷が始まりました。

公明党が推進してきた「福島イノベーション・コースト構想」。対象15市町村に、のべ全国25大学等の研究者や学生が、地元密着で復興に取り組む、「復興知」事業が進められています。その流れを大きく発展させるため、「福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議」を復興庁に発足させ、11月に、廃炉、ロボット、農業、エネルギー等の先端分野の若手研究者が集う、国際産学連携拠点について中間とりまとめが行われました。

さらに、11月10日に投票が行われた、今年の統一地方選挙の掉尾を飾る、福島県議会議員選挙。定数10に対して、今回初めて2名の挑戦をさせて頂いた、いわき市選挙区。まやま祐一、あべやすおともに、3位、4位で当選し、県会同一選挙区2名の「2倍革命」を東北で初めて実現させて頂きました。今後さらに、公明党のネットワークで福島の復興を進めて参ります。